

療養補償請求書

認定番号 314-00000
請求回数 第3回(年6月分)

地方公務員災害補償基金山形県支部長殿
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
山形県庁6F 総務部総務厚生課内
請求年月日 平成29年3月31日
請求者の住所 〇〇町〇〇11-12
ふりがな あさひ かずや
氏名 朝日一也

下記の療養補償を請求します。

1 補受償領費用委任の
この請求書による療養補償の費用の受領を 山形整形外科 に委任します。
委任者の氏名 朝日一也
上記委任に基づき、この請求書による療養補償の費用の支払を請求します。
住所
受任者の医療機関等の名称
氏名(代表者名)

2 被関災す職る員事に項
所属団体名 〇〇町
所属部局名(電話番号 AAA-0000) 総務部 〇〇〇〇課
氏名 朝日一也
職名 主事
勤務状況 常勤
負傷又は発病の年月日 平成28年6月26日

Table with 8 rows for medical fees: 3 診療費, 4 調剤費, 5 看護料, 6 移送費, 7 上記以外の療養費, 8 療養補償請求金額 (3~7の合計額)

9 送金希望の場合
振込先金融機関名 銀行 支店
口座番号
普通預金 当座預金
送金小切手 銀行 支店
その他
預金名義者名
法人機関又は役職の名称(個人名義の場合は記入不要です。)
(フリガナ) 氏名

*受理 平成 年 月 日
*通知 平成 年 月 日
*支払 平成 年 月 日
*決定金額 円

- [注意事項]
1 請求者は、*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
2 「認定番号」の欄は、第1回目の請求においては、記入する必要はないこと。
3 「1 補償費用の受領委任」の欄は、診療に当たった医師若しくは医療機関等、調剤に当たった薬剤師若しくは薬局又は訪問看護を行った訪問看護事業者に療養補償の費用の受領を委任しようとする場合にのみ記入すること。
4 「5 看護料」及び「6 移送費」については、訪問看護の場合を除き、費用の領収書又はこれに代わる証明書及び明細書を添付すること。
5 「7 上記以外の療養費」の欄には、入院料に食事代を含まない場合の食料費及び「3 診療費」に含まれない療養に必要な治療材料の名称、数量及び費用を記入し、その領収書及び明細書を添付すること。
6 「*10 診療費請求明細」、「*11 調剤費請求明細」又は「*12 訪問看護事業者の証明」の欄の記入に代えて同様事項を記載した医師、歯科医師若しくは柔道整復師、薬剤師又は訪問看護事業者の証明書を添付してもよいこと。
7 「診療報酬点数表により計算できないもの」の欄には、金額及びその明細(例えば診断書料、入院室料差額等)を記入すること。
8 「請求者の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができる。

*10 診療費請求明細				(職員氏名)						
傷病名	ア イ ウ	診療	ア平成 年 月 日	診療	平成 年 月 日	から	日			
初診	時間外・休日・深夜	回				日	まで			
再診	再 外 来 診 料	×	回							
	再 外 来 診 料 加 算	×	回							
	再 外 来 診 料 加 算 外 時 間	×	回							
	再 外 来 診 料 加 算 外 日 夜	×	回							
指導										
在宅	往 夜 診 間 診 察 の 他 剤	回		帰	平成 年 月 日	治 ゆ	繼 続	転 医	中 止	死 亡
投薬	内服薬剤	×	回	摘要						
	内服調剤	×	回							
	外用薬剤	×	回							
	外用調剤	×	回							
注射	皮下筋内	×	回							
	皮下筋内	×	回							
処置	薬剤	回								
手術・麻酔	薬剤	回								
検査	薬剤	回								
画像診断	薬剤	回								
その他										
入院	入院年月日	平成 年 月 日		食事	基準	円× 円× 円×	日間 日間 日間			
	病診衣	入院基本料・加算								
		×	日間							
		×	日間							
	特定入院料・その他									
診療報酬点数表により計算できるもの				合評点数 1点単価 ×				円		
診療報酬点数により計算できないもの				診断書料・入院室料差額等				円		
診療費請求合計額								円		
上記の事項は事実と相違ないことを証明します。(この欄の記入は、診療に当たった医療機関に療養補償の費用の受領を委任する場合は不要です。)										
平成 年 月 日										
診療機関の { 所在地 名称 医師の氏名										
(印)										

※ 網掛け部分は医療機関に記載していただく部分です。

※ 診療費請求明細(様式第6号の2号紙)は、医療機関の任意様式のものに替えることができます。